

令和6年度 東濃地区教育推進協議会教育実践研究奨励賞  
**「実践記録、教材・教員の部」 入選者講評一覧（小学校）**

No.	作品名	教科・領域等	学校名	応募者名	作品	作品の説明	講評
1	個別最適な学びに対応し、学び続ける児童を目標とした算数教材の開発 ～1つのPowerPointスライドの活用を通して～	算数	多治見市立小泉小	中川 智香子		この教材は、1つのPowerPointスライドが「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」に活用できる。そして、その1つのPowerPointスライドがロイノート機能と授業形態の工夫と組み合わせることにより、「個別最適な学び」に効果があると感じて実践を重ねてきた。今年度は、学級の実態から、さらに次の児童への対応を工夫した実践にも活用された。	小学校4年生の全単元・全時間のスライドの作成を現在も進めている。教科の本質を踏まえて、児童が探究の足場として、必要に応じて活用できる魅力的なものになっている。教科書には記載がないコツのようなものも載っており、工夫されている。
2	見て発見！触って発見！和紙のひみつ	社会	瑞浪市立瑞浪小	福岡 菜々		児童が和紙の手触りを体験できるようにした。破った断面の様子が分かりやすいように、黒い画用紙に貼り付け、虫めがねで観察できるようにした。また、それぞれの和紙を作っている様子をQRコードで掲載し、児童がタブレットで視聴できるようにした。	他の紙と比較したり、追究する視点を与えたりすることで、児童が社会科の見方・考え方を養えるように工夫がなされている。また、実物を提示することで、児童が興味をもち、主体的に和紙のよさを追究できる教材となっている。
3	いっしょにあそぼう ばくばくくん	図画工作	瑞浪市立瑞浪小	高垣 和美		廃材を利用して作る題材「ばくばくくん」の作り方が分かりやすいように、PowerPointで手順を提示した。教師の見本作品が見やすいように作品台を作成した。ばくばくくんの表情が出るように、口を開けたポーズで展示できるようにした。	児童が製作の見通し(手順・技法)をもち、ワクワクしながら発想が広がるよう丁寧なスライドが準備してある。単に真似するのではなく、多様な技の中から自分に合った表現を選べるなど発想を広げることができるよう工夫してある。教科書に載っている材料・用具で作れるように配慮してある。
4	かけ算の筆算支援シート	特別支援(算数)	恵那市立大井小	山内 枝里子		3桁×3桁のかけ算の筆算に困難さを感じる児童が、簡単に計算できるように支援シートを作成した。マスシートを合わせることで桁すずび位を描いて計算することができる。半透明のシートの為、筆算の全体像を把握しながら計算を進めることができ非常に効果的であった。	マスに合わせて、かけ算の筆算の手順を視覚的に支援できる教材である。計算する位の部分だけが透けており、必要な情報に集中して計算をすることができる。また、半透明のシートであり、筆算の全体像も意識しながら計算をすることができる。
5	がんばれ！ティラノくん	特別支援	中津川市立東小	郷田 知美		難聴の児童がソーシャルスキルを楽しく学べるよう、児童の大好きな恐竜が主人公の漫画を作成した。担任や保護者からの聞き取りをもとに題材を設定し、すぐに使えるスキルが学べるようにした。また、漫画の内容に即したカードとすごろくを作成し、ゲーム感覚で実践できるようにした。	児童が好きな「恐竜」をキャラクターにした漫画が作成されていることに加え、イラストが素晴らしい。児童の興味を強く引き付ける作品になっている。子どもの実態に即して、その児童に必要な生活場面を想定した、ソーシャルスキルトレーニングを行うことができる。
6	しおクイズ	健康教育	中津川市立阿木小	亀嶋 姫依		中津川市阿木地区は、令和3年度より健康増進モデルとして「阿木地区減塩プロジェクト」に取り組みしており、小学校でも減塩授業等が行われた。授業後の児童の主体的な行動につながるよう、保健委員会の児童とともに提示物を作成した。児童が授業で学んだことの確認をするとともに、減塩のために、生活の中で具体的にどのような工夫ができるか考えることに役立っている。	阿木地区の減塩の取組と関連付けて、子どもたちが思わず手に取って主体的に学べる教材となっている。クイズの解説「みそ汁にヨーグルトを入れるとうまみがアップする」といった食育の視点を入れているところも学びの多い教材となっている。
7	遮熱についての比較実験装置	家庭	中津川市立神坂小	赤塚 梢		遮熱の効果を検証することを目的に、作成した。部屋に見立てたダンボール(遮熱するものなし・カーテン・すだれ)内に温度計を置き、中央の白熱灯熱源による室内の温度変化を比較できるようにした。グループ毎に実験を行い、時間による温度変化を記録することで、児童全員が遮熱の効果を実感することができた。	本教材は、部屋に見立てたダンボールに、外側にはすだれ、内側にはカーテン(学校で使用のものと同じ素材)を設置し、温度変化を記録していく。同じ装置がグループ別製作されているので、手軽に、同じ条件で全員が実験を主体的に行うことができ、遮熱の有効性について理解できるようになっている。
8	絵本「どーなつとちゅうたん」	健康教育	中津川市立川上小	三尾 春歌		就学時検診での視力検査事前指導用に作成。未就学児でも親しみやすい絵本にした。どーなつを用いて「主人公のちゅうたんはどーなつを食べたんでしょう？」と問うことで、ランドルト環のどーなつが欠けているかを子どもたちが楽しみながら、説明できるようにした。	就学前の幼児の実態を考慮し、親しみやすい絵本で視力検査の説明をするアイデアは素晴らしい。短い時間で落ち着いて説明が聞けるように工夫している点は大変有効である。事前に園で読んでもらうこともできるので、指導する場面に汎用性がある作品となっている。
9	絵本「けんこうにんじゃ ぼぼまる」	健康教育	中津川市養護教諭部会視力グループ(小学校)	○三尾 春歌 曾我 裕子 土本 真知子 野村 麻衣 寺嶋 爽		視力低下の低年齢化を受け、幼保こども園での保健指導用として絵本を作成。園の先生が誰でもどこでも気軽に使える指導用絵本を目指し、絵本の大きさや絵本に使われる言葉などを事前に園の先生と打合せをした。「ぼぼまる」という主人公を通して、自分の生活を振り返り、目によい生活とよくない生活について知ることができる一冊(「ぼぼまる」は、市内の中学生が作成)。作成した絵本は、中津川市内の全幼保こども園へ配付。	現代的な問題として、幼児期からのスマホやタブレット使用、ゲームによる視力への影響に着目し、どのように手立てを講ずるかに踏み込んだ養護教諭部会の取組は大変価値がある。さらに、絵本を全幼保こども園へ配布する熱意が伝わる作品である。